

地域間共助推進協を発足

川内村、富岡町、埼玉県杉戸町など

支援モデル化し有事態勢

郎副町長は「協議会を通じて一つの課題をクリアしたい」、杉戸町の古谷松雄町長は「連携をより密にする」などと未永い相互支援を誓った。

国土交通省の平成二

十五年度広域的地域間共助推進事業に六月二

十七日付で選定され、事務局をNPO法人す

ぎとSOHOクワツ立し心の復興に生か

す、富岡町の田中司

川内村、富岡町、埼玉
県杉戸町と埼玉県の
川内村役場で初顔合
会を発足させ四日
一つのNPO法人が
を兼ねたセレモニ
「地域間共助推進協議
を行った。東日本大震

災と東京電力福島第一
原発事故で全国から寄
せられたさまざまな支
援をモデル化し、将来
的に予想される首都圏
直下型地震など有事の
際に迅速に対応できる
態勢を構築する試み。

富岡町は原発事故に
伴い川内村に一時、避
難。富岡町と友好都市
を結ぶ杉戸町は避難者
を受け入れた。三町村
が相互支援を強化する
と同時に、NPO法人
を加え震災から二年四
カ月の広域連携や支援
態勢などを精査しモテ
ル化する。成果は来年
一月に杉戸町で予定す
る協働型災害訓練に反



未永い相互支援を約束した遠藤村長(右から2人目)や田中副町長(同3人目)ら出席者